



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。



この印刷物は、環境に配慮し、適切に管理された森林資源
を用紙の材料とし、VOC(揮発性有機化合物)の発生 of 少
ないベジタブルインクを使用しています。



MISAWA 45th
Anniversary

証券コード 1722

第10期 株主通信

平成24年度 事業のご報告(中間)
平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

ミサワホーム株式会社



表紙の写真：
本年10月発売の木質系戸建住宅「SMART STYLE B」より。リビングの南側に設けたサンルームには陽光が降り注ぎ、ご家族が思い思いにくつろげる溜り場です。

コーポレートスローガン

私たちミサワホームグループは
「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、
良質の「住まい」を提供し、
豊かな社会づくりに貢献します。

経営理念

安全・快適で環境を重視した家づくり、街づくりを行います。
法令を遵守し、倫理を重んじて誠実に行動します。
地球全体を視野に入れ、環境保全活動などを行い、社会に貢献します。
企業価値の向上に努め、長期安定的な成長により、
ステークホルダーとの共存共栄を実現します。
グループ社員が相互に信頼し、
協力し合って能力を発揮できる職場をつくります。
適正な財務報告・情報開示と適切なリスク管理を行います。

ミサワホームグループは、 おかげさまで 創立45周年を迎えました



代表取締役 社長執行役員

竹中 宣雄

株主の皆様には、日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、おかげさまで本年10月に創立45周年を迎えました。株主の皆様には当社グループの成長と発展を支えていただき、住宅業界のリーディングカンパニーとして工業化住宅の歴史とともに歩むことができましたことを、心から感謝申し上げます。

この45年間、様々な商品や技術開発を推進してまいりました。特に環境に配慮した住まいづくりにおいては、世界初

のゼロエネルギー住宅や、建設から解体まで住宅のライフサイクル全体で二酸化炭素排出量をマイナスにできるLCCM住宅を実現するなど、この分野において業界に先駆ける開発ができたと自負しております。

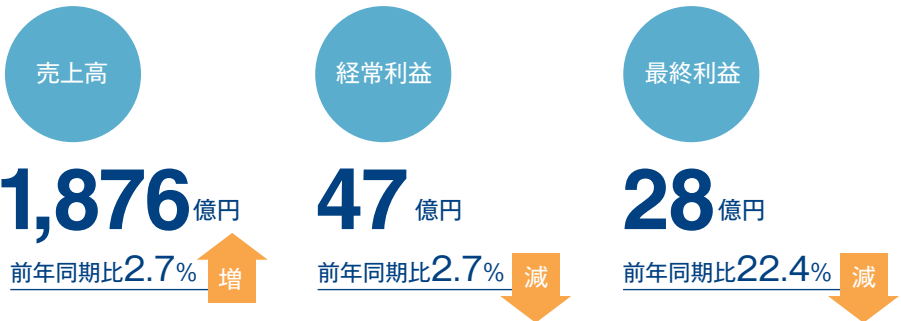
東日本大震災とその後の原発事故は、消費者の暮らし方やエネルギーに対する考え方を大きく変化させました。住宅業界においても、エネルギーの自給とエネルギー利用の最適化を図るスマートハウスが注目を集めています。当社グループは、長年培ってきた環境技術を融合させ、独自のスマートハウスの販売を推進しております。また、エネルギー利用の最適化をはじめ、あらゆる社会的インフラを統合的に管理・制御するスマートコミュニティづくりにおいても、各地で本格展開を開始いたしました。当社グループは、このような商品や技術開発を通じ、企業活動そのものが環境保全活動につながるよう、社会に貢献していきたいと考えております。

さて、当上半期の終了をもちまして、昨年度に発表いたしました中期経営計画「Home Step Jump 計画（平成23年度～25年度）」のちょうど中間点を通過いたしました。現状のところ業績は順調に推移しておりますが、政治、経済ともに先行き不透明な情勢となっております。当社グループは、本計画の達成に向け、いま一度気を締めめてグループ一丸となって取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様には、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

平成24年度 上半期の業績



ミサワホームグループは、1967年の創立以来、工業化住宅の歴史とともに歩んできました

1962 「木質パネル接着工法」が業界初の建築基準法第38条認定を取得し、営業開始

1966 業界初の完全保証制度を開始

1967 旧ミサワホーム株式会社を設立



第9次南極観測隊の「居住棟」「ヘリコプター格納庫」の部材製作を担当、第10次より継続発注を受ける

1969 100万円住宅「ホームコア」を発売



1970 大阪万博に未来住宅「ヘリコ」を出展



1971 東証第2部上場

1972 大証第2部上場

1973 株式会社ミサワホーム総合研究所を設立

1976 ベストセラー企画住宅「ミサワホームO型」を発売



国家プロジェクト「ハウス55計画」提案競技に応募し、入選

1979 「MRD全国不動産情報センター」を開設

1980 多機能素材とそれによる構法が建築基準法第38条認定を取得

1981 東証・大証第1部に指定替え「ハウス55計画」に基づき開発した鉄骨系住宅第1号商品「ミサワホーム55」を発売



1981 業界初の長期保証制度（構造体10年保証）を実施

1982 リフォーム専門のホームイング株式会社を設立

1985 「センチュリーA8」が、建設省「C・H・S（センチュリー・ハウジングシステム）認定」第1号を取得



1989 最先端の住まい「NEAT INNOVATOR」が、世界デザイン博協賛・インテリアフェアで内閣総理大臣賞を受賞



1991 「GOMAS」が工業化住宅として初のグッドデザイン賞を受賞



1993 再生木材による新素材「M-Wood」を開発

介護付有料老人ホーム「マザアス南柏」を開設

1994 計画植林・伐採を行う環境先進国フィンランドに製材工場を開設



1995 （財）ベタリービングの「C・H・Sシステム認定」を基本とした「100年住宅」を発売

1996 「GENIUS 蔵のある家」が工業化住宅として初のグッドデザイン賞グランプリを受賞



1997 消費者志向優良企業として通商産業大臣賞を受賞

リサイクルした素材とリサイクルできる素材だけで構成した世界初の「100%リサイクル住宅」完成



1998 世界初ゼロ・エネルギー住宅「HYBRID-Z」を発売



100%リサイクルのエクステリア新素材「M-Wood2」を開発



1999 業界初の地球環境大賞を受賞

2002 名証第1部上場

2003 ミサワホームホールディングス株式会社設立、東証・大証・名証第1部上場

2004 制震装置「MGEO」を発売、以後リフォーム用などに展開

2005 愛知万博のグローバルループなどに「M-Wood2」が採用される

2006 住まいのテーマパーク「ミサワパーク東京」開設、以後全国展開

2007 「GENIUS Link-Age with kids」などが第1回キッズデザイン賞受賞、以後6年連続で受賞

ミサワホームホールディングスとミサワホームが合併、ミサワホーム株式会社に商号変更

2008 インターネットによる住宅販売サイト「MISAWA WEB DIRECT」を開設

2009 「SMART STYLE ZERO」が業界初のゼロCO₂認定を取得

住宅循環システム「住まいるりんぐシステム」をブランド展開



2010 木質系、鉄骨系住宅を対象とした業界最長レベル30年保証の運用開始

ライフサイクルCO₂マイナス住宅「ECO Flagship Model」完成



2011 生活エネルギーのソーシャル・ネットワーク・サービス「enecoco」開始

2012 「LCCO₂マイナス住宅 亀山モデル」が最高ランクのLCCM住宅認定を取得



東日本大震災 被災地復興に向けて

被災高齢者向け災害公営住宅 「井戸端長屋」完成

東北ミサワホームが小野建設株式会社と共同で福島県相馬市より受注した被災高齢者向け災害公営住宅「井戸端長屋」（平屋建12戸）が、本年8月に馬場野山田地区に完成しました。孤独状態を防ぐため、広めの食堂やサンデッキ



▲ 被災高齢者向け災害公営住宅「井戸端長屋」

など、昔ながらの井戸端のように人が集まるスペースを配置。バリアフリー設計などを採用し、軽度の要介護の方にも対応しています。

「津波記憶石」の建立に協賛

日本を代表するアートディレクター浅葉克己氏が制作した当社の企業イメージポスターを販売し、その収益の一部を「全優石津波記憶石プロジェクト※」の協賛金として活用しています。



※一般社団法人全国優良石材店の会が推進するプロジェクト。津波の恐ろしさを後世に伝えるとともに、犠牲者の慰霊の気持ちを込めて、岩手・宮城・福島など津波の被害を受けた沿岸部500kmに500の祈りの石碑の建立を目指すもの。

◀ 浅葉氏がデザインした第1号の津波記憶石
（岩手県釜石市）

昨年度は応急仮設住宅の建設やオーナー様宅の修繕、震災復興応援住宅の発売などを行い、被災地の復旧・復興に全力を尽くしました。今年度も、当社グループの想いを込めた支援活動を実施しています。

孤児・遺児教育支援活動 「MISAWA Friendship」

震災で孤児・遺児となった子どもたちへの教育支援活動として、東北ミサワホームの住宅展示場に来場いただいたお客様一組につき100円を、同社の負担であしなが育英会に寄附しています。本年6月には、第1回贈呈式があしなが育英会東北事務所にて行われました。



▲ 第1回贈呈式



夢と希望を届ける「南極クラス」開催

岩手県大船渡市の小中学校3校にて、教育支援活動「南極クラス」（主催：岩手県学校生活協同組合、協力：国立極地研究所）を開催しました。「南極クラス」は、南極地域観測隊に参加した当社グループの従業員が講師となり、南極の自然環境や隊員の活動などを紹介。自然やチームワークの大切さを伝え、将来を担う子どもたちに夢や希望を届けることを目的としています。



え、将来を担う子どもたちに夢や希望を届けることを目的としています。

南極クラス [検索](#)

<http://www.eco.misawa.co.jp/antarctic-class/>

新商品

企画住宅ブランド

SMART STYLE シリーズ全面リニューアル



▲ 新タイプ「SMART STYLE BJ」



木質系戸建住宅のうち企画住宅ブランドとして展開している「SMART STYLE」シリーズ。平成19年の発売から既に1万棟以上の受注をいただき、主力商品のひとつに成長しました。本年10月には「SMART STYLE」シリーズを全面リニューアルし、高品質・高コストパフォーマンスに加え、家族の成長や環境技術の変化に合わせ、住まいを成長させながら賢く暮らすさまざまな提案を盛り込みました。自然の力を利用し省エネに貢献できる「微気候デザイン設計」や最大2.7mの高天井などを標準仕様とし、コンセプトやメインターゲットにあわせて再構成した新「SMART STYLE」5商品をラインアップしました。

まちの二世帯・三世代住宅

GENIUS UD 二世帯

東日本大震災を機に人とのつながりの大切さが再認識され、家族が集まって暮らせる二世帯・三世代住宅へのニーズが高まっています。このような社会背景を受け、本年7月に二世帯・三世代同居に対応した木質系戸建住宅「GENIUS UD 二世帯」を発売しました。プライバシーを確保しながら、程よく家族がつながる工夫を施しています。あわせて、ミサワホームの二世帯・三世代同居に関する考え方、空間提案を紹介した「二世帯“交居”幸福論」を制作し、全国の書店にて発売中です。



▲ 書籍「二世帯“交居”幸福論」



収入ある3階建邸宅

Belle Lead HOME plus 3

「Belle Lead HOME plus 3」は、狭小敷地の都市部においても敷地を有効活用できる3階建の木質系賃貸併用住宅です。採光と眺望が良い3階リビングをはじめ、太陽光発電システムやホームエレベーター、制震装置「MGEO」を標準装備するなど、自宅部分も賃貸部分も「ワンランク上の暮らし」を実現します。



TOPIC01

23年連続グッドデザイン賞受賞



▲ Season j 四季の彩

耐震木造住宅「Season j 四季の彩」、屋根部品「Mルーフシステム アルミ樋」の2点について、平成24年度グッドデザイン賞を受賞しました。これにより、平成2年に初めて受賞して以来、住宅業界ナンバーワンの23年連続受賞を果たし、通算受賞点数114点となりました。当社グループは今後も、建物や住宅部品の品質・性能の向上を図るとともに、優れたデザインの商品やサービスを開発し、お客様に「安全・安心・快適」な住まいを提供していきます。

Mルーフシステム アルミ樋 ▶



TOPIC02

第6回キッズデザイン賞受賞

共働きの子育て世帯をターゲットとした木質系戸建住宅「GENIUS クオリエ」や、当社グループが設計を手掛けた保育施設など計5点が、第6回キッズデザイン賞を受賞しました。第1回から6年連続、通算受賞点数18点になります。



◀ 「GENIUS Qualie」(左)、コビープリスクールみさとながとろ(右)

TOPIC03

住まいづくりのテーマパーク
「ミサワオープンファクトリー群馬」オープン

住まいの先進技術や基本性能、デザインなどを紹介した住まいづくりの体験・体感型施設を全国で展開していますが、この度、6カ所目となる「ミサワオープンファクトリー群馬」(沼田市)を開設しました。建物の構造や強度を体感できるスケルトンハウスや、高度工業化された部材の生産ラインも見学できます。



▲ スケルトンハウス

TOPIC04

制震装置「MGEO」シリーズ
搭載数2万棟を突破

▲ 「MGEO」設置イメージ

ミサワホームの住まいは、もともと地震や台風などの自然災害に強い建物構造ですが、さらに大きな安心をお届けできるよう制震装置「MGEO」を開発しました。「MGEO」は、地震エネルギーを最大約半分に軽減し、建物の損傷を最小限に抑え、繰り返す余震にも対応できます。平成16年12月に発売を開始し、搭載数は累計2万棟を突破しました。

「耐震」+「制震」。エムジョ
MGEO
Misawa Governance system for Earthquake Oscillation control



「MGEO」シリーズ ▶

TOPIC05

平成25年版カレンダー「パウル・クレー」

当社は昭和63年より、世界や日本の偉人たちが手紙などに残したサインや数字を収集し、「偉人の筆跡シリーズ」カレンダーを制作しています。平成25年版は、バウハウスの教授でもあった有名画家の「パウル・クレー」。日本で未公開の作品も含め、充実した内容で構成しています。全国の丸善、東急ハンズにて販売中です(税込1,890円)。



◀ 平成25年版カレンダー「パウル・クレー」表紙(左)、松屋銀座にて、今まで制作したカレンダーの展覧会を開催しました(右)

TOPIC06

ミサワホーム静岡の新社屋着工

国土交通省の平成23年度「木のまち整備促進事業」に採択された、大規模木造建築を可能とする独自の構法を用い、本年10月にミサワホーム静岡の新社屋の建設に着手しました。新社屋は、2階をエントランスとした地上3階建の建物であり、屋上には約50kWの太陽光発電システムを設置します。当社グループは、この独自構法の研究開発を推進し、教育施設や介護施設などへの展開を目指します。



◀ 完成イメージ



株主の皆様へ 当社グループについて より理解を深めていただくために、 住まいづくりのテーマパーク 「ミサワパーク東京」の 施設見学会を開催いたします。

ご希望の方は、同封のはがきにてお申し込みください。
多くの皆様のご応募をお待ち申し上げます。

Webで施設の情報をご覧ください。

ミサワパーク東京 検索

<http://www.misawa.co.jp/kengaku/park-tokyo/>

施設見学会概要

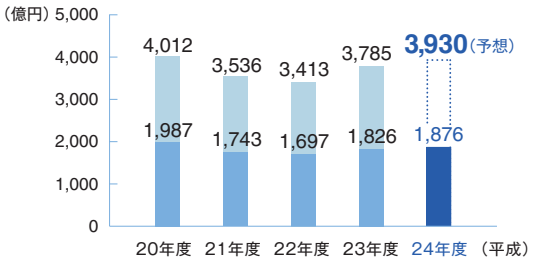
開催日	平成25年3月20日(水・祝)
予定時間	午前の部10時～13時頃／午後の部14時～17時頃
見学場所	ミサワパーク東京
集合場所	ミサワホーム株式会社 本館総合受付 東京都杉並区高井戸東二丁目4番5号 京王井の頭線「高井戸駅」から徒歩7分
参加費	無料(但し、集合場所までの往復交通費は各自でご負担ください)
募集定員	100名(ご同伴者を含む)
締め切り	平成25年1月31日(木) 必着
お問い合わせ	当社総務人事部総務課株式担当 TEL 03-3349-8070(土、日、祝祭日を除く9時～18時)

- ご応募多数の場合は抽選となります。厳正な抽選のうえ、当選者の方のみ2月中旬までに詳細なご案内を郵送いたします。
- 取得する個人情報は、本施設見学会に必要な限りにおいてのみ使用いたします。
- 見学時は、階段での昇り降りがあり、2時間ほど施設内をお歩きいただくこととなります。
- 同伴者は1名様まで可能です。

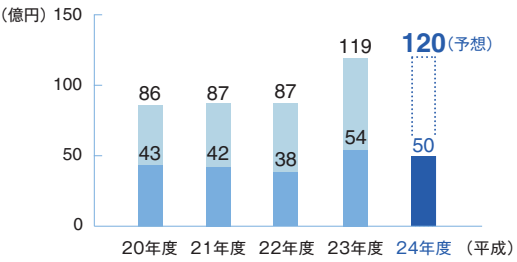
財務ハイライト

当上半期の売上高は、1,876億10百万円(前年同期比2.7%増)となりました。利益面につきましては、経常利益47億42百万円(前年同期比2.7%減)、四半期純利益は28億68百万円(前年同期比22.4%減)となりました。

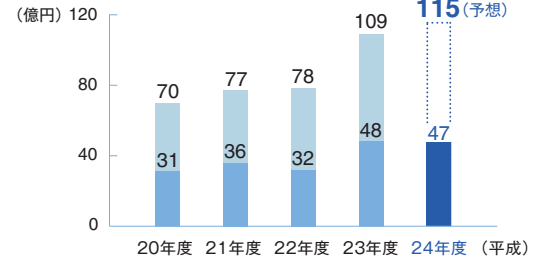
●売上高



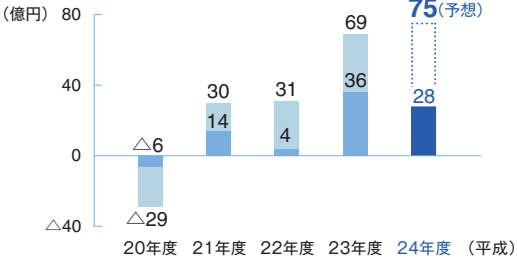
●営業利益



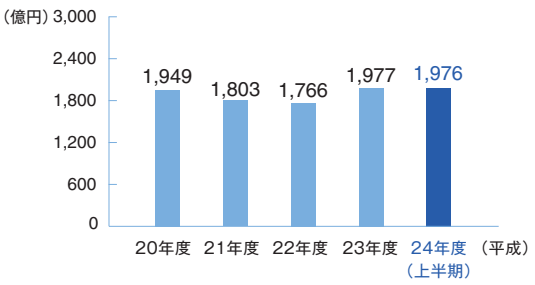
●経常利益



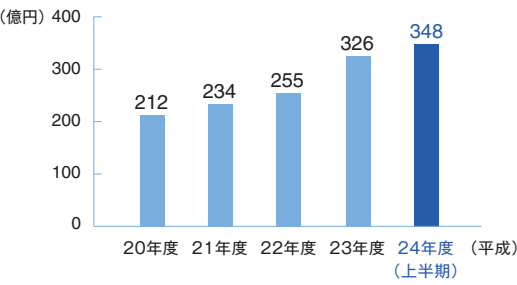
●四半期(当期)純利益



●総資産



●純資産



Point 1資産の部

前期末に比べ1億円減少し、1,976億円となりました。
これは主に、建売分譲事業の強化による分譲在庫の増加などによりたな卸資産が増加する一方、大型マンションの債権回収により売掛金が減少したことによるものです。

Point 2負債の部

前期末に比べ23億円減少し、1,627億円となりました。
これは主に、借入金返済などによるものです。

Point 3純資産の部

前期末に比べ22億円増加し、348億円となりました。
これは、四半期純利益28億円の計上及び配当金の支払い6億円によるものです。

Point 4普通株式の配当の状況

当上半期末の配当はございません。
尚、当期末の配当金は、1株あたり10円を予定しております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成24年9月30日現在	前 期 平成24年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	134,649	135,858
固定資産	62,973	61,899
有形固定資産	45,443	44,568
無形固定資産	6,424	6,251
投資その他の資産	11,105	11,080
資産合計	197,623	197,758
負 債 の 部		
流動負債	130,475	132,162
固定負債	32,317	32,972
負債合計	162,793	165,135
純 資 産 の 部		
株主資本	33,422	31,130
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	18,876	18,892
利益剰余金	8,771	6,490
自己株式	△4,224	△4,252
その他の包括利益累計額	△525	△427
その他有価証券評価差額金	45	95
土地再評価差額金	△448	△448
為替換算調整勘定	△123	△74
少数株主持分	1,933	1,920
純資産合計	34,829	32,623
負債純資産合計	197,623	197,758

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで	前上半期 平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで
売上高	187,610	182,631
売上原価	143,046	140,515
売上総利益	44,564	42,115
販売費及び一般管理費	39,543	36,641
営業利益	5,020	5,474
営業外収益	590	517
営業外費用	868	1,116
経常利益	4,742	4,875
特別利益	－	1,270
特別損失	151	466
税金等調整前四半期純利益	4,590	5,680
法人税、住民税及び事業税	1,016	801
法人税等調整額	647	1,130
少数株主損益調整前四半期純利益	2,927	3,747
少数株主利益	59	52
四半期純利益	2,868	3,695

Point 5売上高

前上半期に比べ49億円増加し、1,876億円となりました。
前下半期における戸建住宅の受注改善により売上戸数が増加したことに加え、リフォームやマンション事業などの売上が拡大し、増収となりました。

Point 6営業利益及び経常利益

増収となったものの、積極的な販促活動や販売子会社の増員により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は50億円、経常利益は47億円となりました。

Point 7営業活動によるキャッシュ・フロー

大型マンションの債権を回収(収入)する一方、建売分譲事業強化による分譲在庫の増加などによりたな卸資産が増加(支出)し、前上半期に比べ97億円減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当上半期 平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで	前上半期 平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,075	18,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,184	△2,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,234	606
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△17
現金及び現金同等物の増減額	1,654	16,994
現金及び現金同等物の期首残高	48,024	36,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,678	53,586

会社の概要

商 号	ミサワホーム株式会社
設 立	平成15年8月1日
資 本 金	10,000,000,000円
従 業 員 数	個別 720名 連結 9,177名
主 な 事 業	住宅開発及び住宅部材の供給

事業所

本 社	〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル
本 館	〒168-8533 東京都杉並区高井戸東二丁目4番5号
北 海 道 事 務 所	〒003-8568 北海道札幌市白石区東札幌二条六丁目8番1号
岡 山 事 務 所	〒700-0971 岡山県岡山市北区野田二丁目13番17号
技能訓練センター	〒300-2724 茨城県常総市古間木1789番4
関東資源循環センター	〒270-0217 千葉県野田市はやま1番地5

役員及び執行役員

■取締役	■監査役
取 締 役 会 長 立花 貞司	常 勤 監 査 役 瓜田 誠治
代表取締役社長執行役員 竹中 宣雄	常 勤 監 査 役 香川 隆裕
取締役専務執行役員 東海 健生	監 査 役 成瀬 泰彦
取締役専務執行役員 平田 俊次	監 査 役 亀田 修造
取締役常務執行役員 若月 恵治	■執行役員
取締役常務執行役員 田中 博臣	常務執行役員 作尾 徹也
取締役常務執行役員 横田 純夫	常務執行役員 下ノ村秀樹
取 締 役 中神 正博	執 行 役 員 阪口 博司
取 締 役 後藤 裕司	執 行 役 員 道官陽一郎
	執 行 役 員 内田 和明
	執 行 役 員 森田 哲之
	執 行 役 員 庄司 健吾
	執 行 役 員 原 秀彦
	執 行 役 員 植村 健吾

*取締役のうち、立花貞司、後藤裕司の両氏は社外取締役であります。また、監査役 瓜田誠治、香川隆裕、成瀬泰彦、亀田修造の各氏は、社外監査役であります。

平成24年4月時点での情報を基に作成しております。

復興特別所得税を加算した上場株式等の配当等に係る税金

		～平成24年	平成25年	平成26年～平成49年	平成50年～
		現在	25年間基準所得税額に対し、 2.1%の付加税が上乗せされます		
上場株式等の 配当等に係る 税金と税率	所得税	7%	7.147%	15.315%	15%
	住民税	3%	3%	5%	5%
合 計		10% 【軽減税率】	10.147% 【軽減税率】	20.315%	20%

平成25年1月以降の所得税率の計算方法

平成25年1月～平成25年12月 ⇒ 7% + 7% × 2.1% = 7.147%
平成26年1月～平成49年12月 ⇒ 15% + 15% × 2.1% = 15.315%

※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数又は金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますので、ご注意ください。
※以上により、平成25年1月1日以降にお受け取りになる配当金計算書等について、所得税に関する表記が変更になる予定です。
※詳細につきましては、所轄の税務署にお問い合わせください。

株式の状況

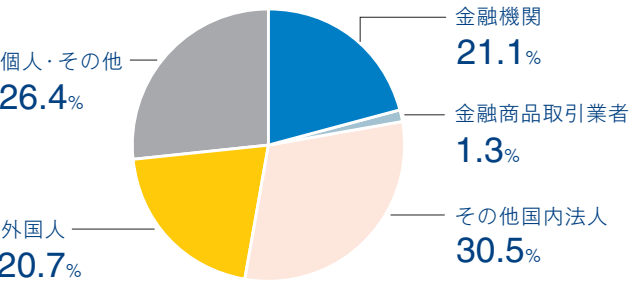
発 行 可 能 株 式 総 数	150,000,000 株
普通株式	149,999,855 株
D種優先株式	145 株
発 行 済 株 式 の 総 数	38,739,059 株
普通株式	38,738,914 株
（自己株式	1,353,282 株）
D種優先株式	145 株
株 主 総 数	
普通株式	17,469 名
D種優先株式	1 名

大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普 通 株 式 （ 上 位 1 0 名 ）		
トヨタホーム株式会社	10,784	27.8
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2,058	5.3
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	1,420	3.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,325	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社（信託口）	749	1.9
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019	696	1.7
日本生命保険相互会社	609	1.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	559	1.4
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカUNT	478	1.2
MG従業員持株会	455	1.1

※1.当社は、自己株式1,353,282株を保有していますが、上記大株主から除いております。
2.D種優先株式145株は、株式会社日本政策投資銀行が株主であります。

所有者別持株構成



株主メモ

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告 （当社ホームページ www.misawa.co.jp に掲載します。）
＜株式業務窓口＞	ミサワホーム株式会社 総務人事部 総務課 TEL 03-3349-8070 FAX 03-5381-7835 （土、日、祝祭日を除く9時～18時）

配当金のお受け取りは、銀行振込をお勧めします。
お手続の詳細は、口座をお持ちの証券会社にお問い合わせください。